

## CISPR 会議 A 小委員会 第 2 作業班(WG2) 対処方針(案)

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
1. 開会	2021 年 11 月*日		
2. 議事次第の確認	CISPR/AWG2(Secretary)20-*	確認する。	
3. 上海会議議事録確認	CIS/A/1313/RM Minutes of the meeting of SC A held in Shanghai, 14 October 2019.	確認する。	
4. AWG2 メンバの更新確認		確認する。	
5. IEC 中央事務局からの情報	AC/10/2007	報告を聞く。	
6. プロジェクト (参照番号付き)			
6.1 CISPR16-2-3: Radiated emission measurement method and associated uncertainties < 30 MHz	CISPR/AWG2(Secretary)18-05 CIS/A/1344/CDV CISPR/A/1308/CC CIS/A/1289/CD CIS/A/1271A/CC CIS/A/1254/CD CIS/A/1252/RR	11/5 まで CDV が回付中であり状況が報告される。  【経緯】 我が国は、9 kHz～30 MHz における放射妨害波の測定について、一貫して、CISPR 規格化を推進してきた。とくに、放射妨害波測定法については、我が国から、ベクトル長測定について提案を行い、距離 10 m 測定の際、z 方向成分の測定は省略できるという簡易測定法の提案を行ってきたが、オーストリアのエキスパートから、省略が難しいとのシミュレーション結果が示され、その結果が妥当と判断されたため提案を取り下げることにした。9 kHz～30 MHz における放射妨害波の測定法については、測定に使用するループアンテナの校正法、試験サイトの特性評価法 (NSA 測定法) と合わせて、CISPR 規格化を推進してきたものであり、CD 案に賛成している。各国意見を理解し、必要があればコメントする。	
6.2. Radiated emission measurements in the	CISPR/AWG2(Secretary)18-05	前回会議で次のステップとして DC 文書案が作成されることとなったが現時点で回付されていない。提案された場合、内容を	

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
frequency range from 18 GHz to 40 GHz	CIS/A/1347/Q CISPR/A/1234/INF CISPR/AWG2(Zhang)19-01 CISPR/AWG2(Gorini)19-01	<p>[18 GHz～40 GHz の周波数範囲における測定装置，測定法及び測定不確かさの検討を行うアドホックグループを設立する提案，コンビーナの承認及びエキスパートの募集] に対して、以下を回答している。今後のアクションプランを確認し、議論へ参加する。</p> <p>■18 GHz～40 GHz 測定装置アドホックグループへエキスパートを登録するか⇒我が国より下記のエキスパートを登録する（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤井勝巳 (Katsumi Fujii, katsumi@nict.go.jp)</li> <li>・ チャカロタイ ジェドヴィスノブ (Chakarothai Jerdvisanop, jerd@nict.go.jp)</li> <li>・ 三塚展幸 (Nobuyuki Mitsuzuka, n_mitsuzuka@telec.or.jp)</li> <li>・ 島先敏貴 (Toshiki Shimasaki, shimasaki@vcci.jp)</li> </ul> <p>吟味し寄書及び議論への参加を検討する。</p> <p>■6. 18 GHz～40 GHz 測定法及び測定不確かさアドホックグループへエキスパートを登録するか⇒我が国より下記のエキスパートを登録する（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田島公博 (Kimihiro Tajima, kimihiro.tajima@ntt-at.co.jp)</li> <li>・ 原田高志 (Takashi Harada, t-harada@tee.tokin.jp)</li> <li>・ 雨宮不二雄 (Fujio Amemiya, amemiya@vcci.jp)</li> <li>・ 長部邦弘 (Kunihiro Osabe, osabe@vcci.jp)</li> <li>・ 島先敏貴 (Toshiki Shimasaki, shimasaki@vcci.jp)</li> </ul> <p>【経緯】 前回会議で、Zhang 氏から大型 ICT 製品の 6GHz 以上の放射のテスト手順のデモの紹介があった。また、Gorini 氏から ETSI TS 103 569 案の紹介がされた。Gorini 氏が TF リーダとなり DC 案を 2020 年 5 月までに作成することとなったが現時</p>	

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
		点で回付されていない。日本からは田島氏、石上氏が参加する。	

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
6.3. Proposed maintenance of CISPR 16-4-2 Ed.2.2	<p>CIS/A/1343/INF CIS/A/1317/DC CISPR/A/1274/INF CISPR/AWG2(Stecher, Medler, Schwarzbeck, Kleine-Ostmann)19-01</p> <p>Action 19-08 to WG2: Adopt the uncertainty budget for the LLAS method to address the change of the validation factor deviation in CISPR 16-1-4</p>	<p>以下の寄書提案について検討し提案する。 前回会議で次のステップとして DC 文書案が作成されることとなり 1317/DC が回付され、我が国から 2 件の技術課題について追加提案している。説明のための寄書提案及び議論への参加を検討する。</p> <p>1) 通信ポートエミッション測定用 AAN に関する検討課題、 2) 1 GHz 超の“アンテナ前置増幅器”及び“前置増幅器測定用受信機”に関する検討課題。</p> <p>【経緯】 釜山会議で US NC から提案のあったメンテナンス項目について、その必要性を TF で検討し、まとめた。 “CISPR/AWG2(Stecher, Medler, Schwarzbeck, Kleine-Ostmann)19-01”に基づき、CISPR16-4-2 メンテナンス項目案の説明が Medler 氏からされた。その結果、a),b),d),e),f),g),i),j),と l)を反映した DC 文書を作成することになった。</p>	
6.4. Proposed maintenance of CISPR 16-2-1 Ed.3.1	<p>CIS/A/1301/DC CIS/A/1309/INF CISPR/AWG2(Nan LI, Qiang CUI, Bo ZENG)19-01</p> <p>Action 19-05 to WG2: WG2 will open a project for maintenance of CISPR 16-2-1. Action 19-06 to WG2: Find a suitable wording for the ISH and start work on the revision of CISPR 16-2-1.</p>	<p>前回会議で次のステップとして CD 文書案が作成されることとなったが現時点で回付されていない。提案された場合、内容を吟味し寄書及び議論への参加を検討する。</p> <p>【経緯】 Nan LI 氏から“CISPR/AWG2(Nan LI, Qiang CUI, Bo ZENG)19-01”に基づき説明があった。 polystyrene foam の比誘電率 (1.05) を規定する内容について改定提案がなされ議論された。 UK および日本 (田島) より、改定には賛成であるが提案された比誘電率 (1.4) の妥当性や損失の影響については検討の必要性があるとの意見を発言した。 結果として、上記ポイントを含みコレクションシートとして CD 案を策定し各国 NC へ意見照会することになった。</p>	

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
6.5. CISPR 16-4-5 am2 Ed.1.0: To add the use of Reverberation Chambers	CIS/A/1324/RVDTR CIS/A/1321/DTR CIS/A/1297/CC CIS/A/1282/CD CIS/A/1281/RR CISPR/A/1205/INF CISPR/A/1184/DC	<p>日本からの2つの意見は否決されている。内容を吟味し追加提案があれば寄書提出する。</p> <p>1321/DTR へ我が国は反対で投票している (2020.7.31)。各国意見集約状況を把握し、反対理由を明確に説明し訴求する。</p> <p>【経緯】 従来の筐体ポートのエミッション試験法は基本的に、放射妨害波による放射電界の最大方向における電界強度を測定している。一方、RVCにおける測定で得られるのは全方向に対する放射電力(和)であり、測定対象となる物理量が異なる。また、RVCによる測定結果を自由空間における最大放射電界に換算するには、EUTの放射パターンなどに対する仮定(例えば電気ダイポールの放射パターンによる近似など)が不可欠である。共通エミッション規格は、既存のどの製品規格にも該当しない製品を対象としており、EUTの種別や大きさが特定できないので上記の仮定を適用することは困難である。したがって、従来測定法と等価な有効性を持つ代替試験法とはみなせない。また測定結果の相関性を確保することも困難であることから反射箱の採用に反対する</p>	
7. TC77 との共同作業に関する議論			
JMT MU: Measurement uncertainty - Call for experts [JMT MU : 測定の不確かさ - エキスパート募集]	CIS/A/1336/AC CIS/A/1330/Q	<p>今後のアドホックのアクションプランを確認する。</p> <p>【経緯】 各国国内委員会に対し、文書 77/556/DC で IEC TR 61000-1-6: 2012 のメンテナンスについてコメントを求めた。DC 文書の結果は、CIS/A/1329/INF 及び 77/562/INF に記載のとおり、メンテナンスをサポートすることになった。一方 CISPR A との共同作業部会 JMT MU が設立された (CIS/A/1330/Q 及び CIS/A/1335/RQ を参照)。この JMT MU のコンビーナは Carlo Carobbi 氏である (77/563/Q 及び</p>	

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
		77/564/RQ を参照)。 CIS/A JP NC は、石上忍氏 (東北学院大学) をエキスパートに推薦した (4/30)。	
7.1. IEC 61000-4-20 Ed.2.0: TEM waveguide test methods TEM 導波管試験法	CIS/A/1241/INF CIS/A/1197/INF CISPR/A/1131/INF CISPR/A/1041/INF CISPR/A/991/INF CISPR/A/977/INF CISPR/A/957/INF ドレスデンにて 2015 年 8 月に会合有. 第 3 版の 1st CD を 2015 年 10 月に発行予定であった.	報告を聞き, 内容を確認する.	
7.2. IEC 61000-4-21 Ed.2.0: Reverberation chamber test methods 反射箱試験法	CISPR/A/1132/INF CISPR/A/1042/INF CISPR/A/992/INF CISPR/A/979/INF CISPR/A/962/INF 情報について報告される。	報告を聞き, 内容を確認する.	
8. 他の CISPR SC との共同作業について			
CIS/A/1325/INF		SCI のコメントに対して、WG2 で取るべきアクションを確認する。  【経緯】2019 年に上海で開催された会議で、CISPR 運営委員会は CISPR / I に 1 GHz 超の放射電界許容値が緩和された理由と試験方法の正当性に関して、IEC ガイド 107 で要求されている手順である、CISPR / A との調整、もしくは CISPR / H によるレビューなしで、CISPR16-2-3 における試験方法から逸脱した事実について理由を照会した。 この INF は、要求された正当化を提供するために CISPR / I で	

審議項目	審議内容	エキスパートの対応	結果
		配布された CIS / I / 642 / DC を CISPR / A に通知するためのもので、コメントは 2020-12-18 までに CIS / I / 642 / DC に提出された。	
8.1. JTF CISPR SC/A & SC/I on updating CISPR 16-1-2, 16-2-1, 16-2-3 and 16-3	CISPR/AWG2(Secretary)1 7-01 CISPR/A/12xx/DC CISPR/A/12xx/DC CISPR/A/12xx/DC	進捗の状況報告を確認する。 ・ DC 文書案 : CISPR 16-3 ・ DC 文書案 : CISPR 16-1-2 ・ DC 文書案 : CISPR 16-2-1 ・ DC 文書案 : CISPR 16-2-3	
8.2. Cable termination for radiated emission measurements	CISPR/A/1228/INF CISPR/A/1219/DC (2)	AHG6 検討状況について報告される予定。	
8.3. JTF CISPR SC/A & SC/H on inclusion of reverberation chambers in CISPR16-4-5 : 無線妨害波及びイミュニティ測定装置並びに測定方法の仕様 - 不確かさ、統計と限界のモデル化 - 代替試験法の使用条件	CIS/A/1321/DTR CIS/A/1297/CC CIS/A/1282/CD CIS/A/1281/RR CISPR/A/1205/INF CISPR/A/1184/DC	6.5 参照	
9. その他の事項		状況報告を確認する。	
10. 次回会議の場所と日程の確認		報告を聞く。	
11. 閉会			